

お天気解説 アキラのズバツと

今年の春は・・・

令和8年3月6日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

3月5日は「啓蟄」。春になり、土の中で冬ごもりをしていた生き物が地上に出てくる時季です。シベリアの高気圧からの寒気南下で寒くなっても冬型は続かず、高気圧が移動性になって通過し、その後南から暖かい空気が入り込むようになります。東京地方では寒い日が3日、その後に暖かい日が4日来る「三寒四温」と云われる時季です。

江戸川臨海における3月5日の平年の最高気温は12.0℃です。でも3月は寒い日と暖かい日との差が大きく、過去には最高気温が、2007年は19.8℃と4月下旬の陽気でしたが、1977年は4.0℃と真冬のような寒さでした。

さて、先日は久々にまとまった雨が降りましたが、昨年11月から降水量の少ない状態が依然として続いています。江戸川臨海の冬期間（12～2月）の降水量は122.5ミリと平年（155.0ミリ）より少なく、関東地方のダムには貯水率が著しく下がった所があり、沈んでいた集落や道路の跡などが出てきたダムもあります。新しい3か月予報によると、関東甲信地方ではこの春（3～5月）の降水量予想は、少ない：平年並み：多い（%）=40：30：30の確率です。少ない確率は40%ですが、もし少ない傾向が続いた場合、水不足で取水制限が始まる自治体が出ることも考えられます。洗濯にお風呂の残り湯を利用したり、シャワーの水を流したままにしないなど水を大切に使用したいものです。



図 3～5月の降水予報(3か月予報 気象庁より)

| 2026年03月06日11時 気象庁 発表 | | | | |
|-----------------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 日付 | 今日 06日(金) | 明日 07日(土) | 明後日 08日(日) | |
| 東京地方 | 曇 | 晴一時雨 | 晴時々曇 | |
| 降水確率(%) | -/-/10/20 | 50/10/0/10 | 20 | |
| 信頼度 | - | - | - | |
| 東京 気温 (°C) | 最高 | 14 | 18 | 14 (11~15) |
| | 最低 | - | 9 | 4 (2~6) |

東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

明日（7日）明け方は雨が降りそうですが、ほかには晴れか曇りの天気になりそうです。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。